



谷田 信二

超高齢社会の現状について

市長 地域包括ケアシステムの構築、推進が必須

谷田 「2025年問題」まであと8年を切った今、小城市高齢者福祉計画をどのように推進されるのか。

谷田 自治会や各団体、周囲の方が何をできるのか、できないことは何かを確認することが、対策の一つではないか。

福祉部長 ニーズ調査ではなくモデル地区の方にアンケート調査をとっている。

谷田 モデル地区の選定はされているのか。

高齢障がい支援課長

平成30年度モデル地区は、東新町（小城町）、江利（三日月町）、小路（若刈町）、牛津町が単位老人クラブにアンケートをしていく。



▶住みなれた地域で安心して暮らせるように

その他の質問

- 高齢者世帯構成の状況
- 養護老人ホーム措置事業
- 対象鳥獣の捕獲について
- 捕獲した鳥獣の処理



西 正博

介護サービス予算の増加にどう取り組むか

市長 地域の皆さまの応援を得られる政策で成果を出したい

西 厚生労働省の発表では、介護保険制度によるサービスの総費用は、平成29年度当初予算で10兆8,000億円となり、制度が始まった12年度の約3倍に増加、12年後には25兆8,000億円と試算している。国は自立支援と重度化防止を図り介護費用の伸びを抑える計画だ。

健康づくり教室への参加などで商品券等と交換できるポイントを付与したり、体操教室を運営する市民団体へ助成を行う。目的として高齢者と地域しを図っている。

に、他市の例も参考にしながら、地域の課題と捉えていきたい。

小城市においても、介護予防の観点や将来の財政支出の軽減を図るためにも何らかの施策を打つべきと考えるが。

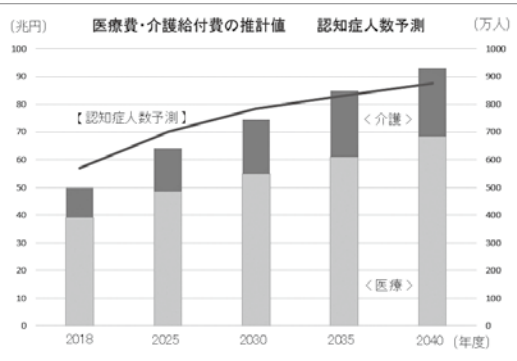
小城市においても、介護予防の観点や将来の財政支出の軽減を図るためにも何らかの施策を打つべきと考えるが。

- 中小企業振興施策
- 障がい者福祉施策
- 子育て・教育施策

その他の質問

平成28年10月に岡山県倉敷市で「介護支援いきいきポイント事業」を視察研修させていただいた。また、広島県江田島市では本年5月から65歳以上の方を対象に、健康づくりを支援する「介護予防活動応援ポイント事業」を始めたとのこと。

市長 提言も良い取り組みと考える。小城市に合う制度を検討し、地域の皆さまの応援をいただき、成果を出せるように



▲認知症人数予測



上瀧 政登

子どもの安全を どう確保するか

教育長 市民に見守っていただきたい

上瀧 国内各地で子どもに対する残忍な事件が後を絶たない。小城市内の子ども達の安全を強化する必要があると思うが、その方策はあるのか。

市長 昨年朝倉、日田方面で発生した大災害は線状降水帯によるものといわれている。天山系南側の小城市でも発生しないということはない。市内には4カ所の指定避難所と35カ所の避難所があ

る。市民の皆様には、早めの対応をお願いし、備蓄の品物も増やしていきたい。

上瀧 雨季に入り水防の備えは十分にできているか。



▲登校中の砥川小の児童



赤松 貴子

巡回、循環バスのさらなる工夫を

市長 利用者が増えるように提案していく

赤松 市内の巡回バス、循環バスの利用状況と利用率アップの取り組み計画は。

城スマートインターチェンジの周知とあわせて、市内に來られた方への案内を強化していく。

その他の質問

○空き家の利活用について

総務部長 利用者が増えるように、小城市域公共交通活性化協議会で提案。巡回バスの利用促進も含め、運転免許証返納者に対し、乗車運賃の優遇制度の提案をしていく。

赤松 夏休みにむけて子どもたちの居場所はあるか。また要望のある小城市公園の池への転落防止対策は。

※1関係人口とは…住んでいないてもその地域を応援する人。
※2交流人口とは…その地域に訪れる(交流する)人。

赤松 観光行政について、今後の小城スマートインターチェンジの活用計画は。また福岡、長崎など近県からの関係人口、交流人口を増やすための施策は。

教育長 昨年から生涯学習課の取り組みで、各公民館で夏休みの子どもの居場所づくりとして平日に自由に学習できる場所の提供をしている。安全対策については文化課



▲小城公園の池

産業部長 近隣県への小

は。



深川 高志

総合病院
建設候補地選定は

市長

経営戦略会議で
2カ所を選定した

深川 統合病院建設候補地選定における公募型プロポーザル公告の事業名と目的は。

深川 小城市、多久市から候補地を出したほうがいいと小城市、多久市長の協議の中で話されたのか。

き、両市民にとって利用しやすい場所を、経営戦略会議で2カ所を選定した。

総合戦略課長 事業名は、公的病院統合検討事業に係る建設候補地選定支援業務、目的は、統合にむけた両病院の収支、医療動向、候補地の評価。

深川 候補地が評価されるが、多久が3カ所、小城市が2カ所と言われたが、小城市の2カ所はどこか。

市長 多久市長との協議で決めたというよりも、今後の方向性について病院も含めて取り組みについて協議した。

統合するならば場所の選定が先ではないかと考えるに至った。

小城市としても8カ所ぐらいを候補地として挙げて、安定的な経営持続がで

総合戦略課長 1カ所目が小城市南側、桜葉館南側一帯、2カ所目が土生遺跡の西側一帯です。

小城市として8カ所ぐらいを候補地として挙げて、安定的な経営持続がで



▲統合に向けた協議が始まる市民病院



松並 陽一

補助事業の
ルールは
統一化は

市長

今後検討していく必要はある

松並 小城市補助金等交付規則の他に、事業ことの交付要綱があるが、これは全ての補助事業に対して付けられているのか。

財政課長 確認できてはいるが、そのように認識している。

松並 領収書の提出を求め、求めない事業の違いは。

財政課長 補助金の対象が限定されて領収書が数枚の場合は添付できるが、その事業全体に対する補助金の場合、枚数が多く、全て添付するのは現実的ではない。

国民健康保険のあり方

松並 国保事業に関する市の負担は大きく、比較的運営状況が良い企業健保等に加入してもらう働きかけをすべきでは。

市民部長 国保加入の手続きに来られる際、まずは家族の扶養になることや、これまでの社会保険の任意継続も提案している。

西九州大学について

松並 新入生の出身地は。

建設部長 市内6名、県内市外56名、県外32名。

その他の質問

- ふるさと応援寄附金
- 子どものスマホ利用

	25年度	27年度	29年度 (速報値)
保険給付費	35億645万円	36億2,540万円	34億2,568万円
年間平均加入者数	10,776人	10,058人	9,249人
年間平均世帯数	5,662世帯	5,493世帯	5,223世帯
国保から社会保険 (国保喪失者数)	1,165人	1,106人	886人

▲市内の国保医療費等の推移



永瀨 和正

不祥事の再発防止に倫理 条例の制定を

市長 市内で十分検討していきたい

永瀨 行政改革などは、市民からの信頼がなければ何も進まない。市政は、前商工観光課長がおこした不祥事で、市民の信頼を大きく損ねた。今こそ次の再発防止策等を講じらるべき。

- ① 弁護士、警察OB等専門的な知見を有する外部の専門委員による調査は。
- ② 庁内の内部統制機能を充実させ、不正の未然防止とリスク管理を市長主導で行うべき。
- ③ 職員の倫理条例を制定すべき。

市長 ①検討する。②再発防止に取り組む。③先進的な事例を勉強し、庁内で十分検討していきたい。

牛津川右岸（砥川地区）の 水害対策を

永瀨 牛津町前満江には20年に1回の大雨を基準とした鉾害復旧事業での排水ポンプ（毎秒7t）が設置されている。今度、県が地盤沈下対策事業で30年に1回の大雨を排水するため、毎秒3tの排水ポンプを増設中である。

右岸地区も鉾害復旧事業での排水基準であるので、左岸と同じ基準で市民の安全を守るべき



▲31年稼働予定で増設工事が進む牛津町前満江の排水ポンプ

では。

市長 こういう形でいいのか国・県に問うべきだ。



堤 克彦

小城市の観光は

市長 観光資源を生かしながら整備をしていく

堤 小城スマートインターチェンジが開通、西九州大学看護学部も開学した。新しい観光客の掘り起こしとして、中心市街地への誘客などの絶好の機会と捉え小城公園、小城鍋島藩ゆかりの歴史文化資源、清水の滝、清水竹灯り、江里山の棚田景観など観光資源の情報を発信すべき。また、地元の人や観光客が自由に行き来できる交流の場、意欲的で行動力のある若者などの学びの場などを整備すべき。さらに観光強化へ、まちの駅まちづくりネットワーク、西九州大学などとの協働イベントの実施。市の事業との連携により市内の回遊性を図るべきでは。

市長 観光資源を生かしながら整備をしていく。一年を通して観光できる、そういうふうなものを生かしながらより多くの皆さんたちが小城に来ていただき、体験をし、見ていただき、食をして、癒される、観光地として見ていただく。なお一層PRをし、各方面の連携にも力を入れる。

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

性

その他の質問

○小城公園の排出ゴミ処理

○花見時期駐車場の対応

○元気広場遊具等の整備

○自楽園グラウンド整備



▲清水竹灯りの存続を希望する声が多い



富永 正樹

青パト巡回車の台数と人材確保は

教育長

必要ならば、何らかの対応をとり要求したい

富永 子どもや地域の安心、安全を守る青パト巡回車による青少年健全育成市民会議の活動の現状は。

1台ずつ寄附していただいたもので運用されている。

をしている。

その他の質問

富永 地域の声だが、小城市でやっている週1回はなかなか充分な見守りができない。軽車両でいいから、もう1台増やせないかという要望が出ているが。

○市史編さん事業について

○農漁業振興について

○中小企業・小規模企業振興条例の制定について

教育長 市内7つの市民会議で防犯活動の一環として青パト巡回活動をやっている。小城市4校区は週に1回、青パトを防犯協会より拝借して1カ月毎に三日月と共用しながら専用車を使用、週2回行う三日月は、公民館の公用車をかわりに使っている。牛津は週2回に加え、毎月第一月曜日の夜間、芦刈は平日月曜から金曜の毎日巡回をやっている。ちなみに、牛津と芦刈の専用車は各

生涯学習課長 専用車を増やすことはなかなか難しい。庁舎にある公用車を活用するというところで対応していきたい。現在も3台を予備車ということで予定



▲子どもや地域の安心、安全を見守る青パト巡回車



江島佐知子

事業承継・創業支援で産業振興を

市長

商工会議所、商工会と連携して取り組みを強化する

江島 商工業の振興について

①事業承継、技術革新、創業支援等小城市商工会議所や小城市商工会と連携強化して取り組むべき。

②中小企業振興基本条例を制定し、小城市独自の方向性を示すべき。

③企業誘致について、工業団地造成やIT企業への働きかけ等積極的な取り組みが必要ではないか。

市長 ①現在小口資金貸付や空き店舗対策事業等がある。今後商工会議所、商工会と課題を共有し研修会等実施しながら、中長期的な経済環境の構築に向けて連携を深めたい。

②県が市町を網羅する内

容で条例を制定した。小城市独自の付加を付け、実効性ある条例を制定するには商工会議所、商工会との情報共有が不可欠。

③企業からの要望はあるが応えられていない。工業団地造成には国、県、地権者、農業者との協議が必要。

市長 大きな課題である。庁内でしっかりと協議していく。

水路管理は見直しの時期

江島 高齢化、人口減少、農地の宅地化が進む中、水路管理が曖昧なままになっている。調査、整理をして抜本的な見直しが必要



▲小城市商工会議所主催の経営セミナー



松尾 義幸

不祥事への市民の声を受けとめよ

市長

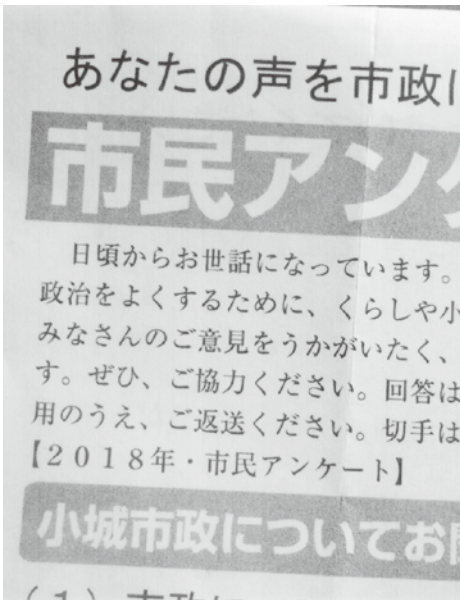
重く受けとめ法令を遵守し、仕事を

松尾 「あなたの声を市政に生かす市民アンケート」を一月初めから、日本共産党小城市委員会が独自に実施し、市内5,000世帯に配布し、103通の回答が寄せられた。

「大いに不満」「不満がある」に60%の評価がきている。この結果を重く受けとめている。

江里口市政の評価を、「よくやっている」「大いに不満」「不満がある」に

「大いに不満」「不満がある」に60%の評価がきている。この結果を重く受けとめている。



▲日本共産党が取り組んだ市民アンケート

松尾 不祥事が続く市政についての意見を紹介する。「本来なら刑事事件となるべきことが、安易に謝罪などで許されていることが遺憾です」「外部監査をぜひお願いします。依願退職すれば解決できるのか?」「市職員の不祥事に市長は減給だけではいいの?」「情報公開すること、職員の質の向上」この声をどう受けとめるか。

市長 公務員としてあるべきことから外れた行動に対して、非常に申し訳ない。法令を遵守し、市のため、市民のため、しっかり仕事をしていく。



香月チエミ

医療的ケア児へ看護師の配置を(保育・幼稚園)

市長

対象児への配置が必要で、現在できていない

香月 第一期小城市障がい児福祉計画が策定された。①障がい児の手帳所持者の状況②発達障がい児等の状況③医療的ケア児について幼児教育・保育現場への看護師配置は。

保育幼稚園課長 ③市内公立保育所に1名の看護師をクラス担任として配置している。医療行為専門の看護師としての対応ではない。

商工観光課長 まだ調査等が進んでいないところがあり、今後実行委員会の中で精査していただくようお願いしたい。

清水の滝ライトアップ事業について

香月 24・25年度の補助対象人口の0・48%。療育手帳所持者は97名。対象人口の1・23%。

福祉部長 ②平成30年5月調査で市内公・私立保育園、幼稚園で支援が必要な子どもの割合は9・2%。小学生4・4%、中学生3・1%。特別支援学級数は3年前の約1・5倍。



▲佐賀県初の重症児・医療的ケア児を支援する「いーはとーぶ」(三日月町)



前田 博己

IoTやロボットなどの
活用は

専門的見地も入れ体制をつくる必要がある

前田 IoTやロボット、AIなどの先進技術活用について

市長 ドローンとか、業務上の受付ロボットとか少しずつ取り組まれている自治体がある。これからの小城市の業務、教育も含めていっているところにかかわってくる問題である。専門的な見地も入って体制をつくっていく必要がある。全体的な、全庁的な問題として体制づくりをどうやって進めていくのかということも協議をしていきたい。

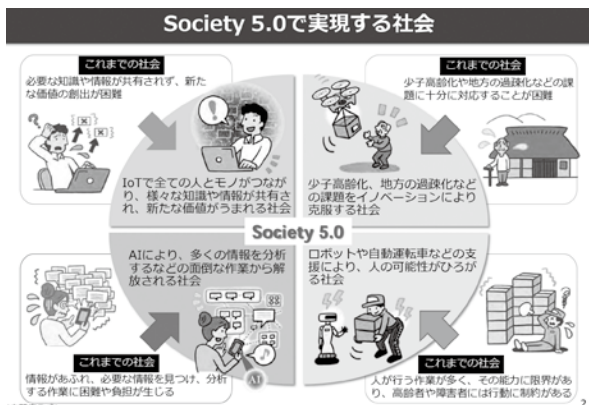
前田 子育て支援について、給食費の軽減は。

教育長 学校教育法第11条にうたっているように、設置者の負担として施設設備に要する経費、及び運営に要する経費ととらえ、それ以外の経費は保護者負担で運営したい。

前田 LGB Tに対する支援について。

市長 これは大きく人権問題にかかわってくる。

LGBTに対する考え方も大きく変わってきている。受け入れる地域をい



▲政府の基本指針のひとつでもあるソサエティ5.0

かにつくるか、これが今の我々の課せられている課題と受けとめている。

※LGBTとは：L(レズビアン) G(ゲイ) B(バイセクシュアル) T(トランスジェンダー)の頭文字で性的少数者の一部を指す。

※首相官邸HPより引用



中尾 勝吉

小城市農業振興について

総合計画において農林業の振興を掲げている

中尾 小城市の農業振興について、有害鳥獣の被害は避けられない。その対策は。

産業部長 多久市と共同して鳥獣による農作物への被害防止施策を総合的に効果的に推進するため、平成29年度より3カ年計画の多久小城市域鳥獣害防止計画を策定している。対象鳥獣の種類や鳥獣による被害の現状、今後の取り組み方針などを盛り込み、多久市小城市で共同して地域の農作物への鳥獣被害を防止し、軽減する施策を行っている。

獣(イノシシ)について処理、処分する処理加工施設の設置は。

産業部長 駆除後のイノシシの処理、処分については、どのような施設が一番必要なのか、施設の運営は、誰がどのようになっているのか、それが良いのか、そして、食品衛生法上の問題など考慮し、今後とも調査研究していく。

その他の質問

○小城市の児童、生徒の通学時の交通安全対策について

○小城市内の小中学校の施設補修について

中尾 捕獲された有害鳥



▲イノシシ (2頭)



中島 正樹

第4次行政改革大綱・人事
評価は

市長 職員に対する納得性を十分高めて評価する



諸泉 定次

教職員の働き方改革をどう進めるか

教育長 教職員の意識を変え、業務改善を図っていく

中島 第4次行政改革大綱の基本体系。人事評価システムの導入について。

中島 公共工事。市としての過去の反省と教訓は。

その他の質問

○アイル資源磨きについて

財政課長 現在の小城市において適正な入札制度、これについて全庁的な周知が必要ではないかというふうなところに課題を持っている。

○総合運動公園跡地について

教育長 2つの小学校で1名ずつの計2名が、講師の配置ができない状況だった。近県まで範囲を広げ5月に1名配置できた。あと1名講師の配置ができていない学校は、管理職、または級外の先生で分担して学習に支障のないよう対応している。

諸泉 義務教育の教職員が過労死ラインで働いていることは、広くマスクミで知られるようになった。小城市で4月1日付で教員の欠員はなかったのか。

なり踏み込んだ内容。学校現場で討議の保障と取り組みを進化させるのか。

その他の質問

○地方公務員法・地方自治法の一部改正を踏まえた取り組み

○小城市障がい福祉計画
○避難場所、岩松支館の建て替え

市においても事務マニユアルや評価基準の作成、制度の理解や評価技術の習得を目的として職員研修の実施などに取り組んでいる。今後は法の趣旨に沿い、信頼性の高い評価システムとして定着させ、人事管理の基礎として活用していきたい。



▲小城市役所の執務風景

諸泉 教職員の働き方改革として文部科学省の事務次官通達が出され、か

教育長 まずは教職員の意識を変え、業務改善を図っていく。勤務時間等の適正化、時間外業務の縮小及び年次有給休暇等の使用促進について通知文と校長のリーダーシップで多忙化解消に取り組み。ICT関係を利用しながら業務の効率化、部活休養日の設定など。授業を中心に業務の精査はしっかりとやっていく。



▲教職員の働き方改革は喫緊の課題



実 光岡

環境問題・課題にどう取
 り組む

市長 環境基本計画に沿ってしっか
 りやっっていく

光岡 小城市における環
 境問題・課題に今後どう
 取り組むのか。

市内中学校における
 部活動指導について

光岡 外部による顧問や
 大会引率ができる部活動
 指導員の導入が開始され
 るが、小城市

の導入の考え
 方と予定は。

その他の質問

指導員制度の導入につい
 ては、現段階での計画は
 ない。

○地域活性化について

市長 合併して第1次小
 城市環境基本計画を策
 定。本年度より第2次計
 画を策定しており、この
 基本計画に沿って実行し
 得るべき施策をやってい
 く。また、小城市は天山
 から有明海へとつながる
 自然豊かな環境があり、
 これを守り育て、未来に
 引き継ぐため、一人一人
 が何をすべきか明確にし
 ながら、今後もしっかり
 取り組んでいく。

教育長

平成
 29年度より小
 城市独自の事
 業として運動
 部活動支援ト
 レナー派遣
 事業を展開し
 ており、その
 実践に成果を
 上げているの
 で、これを継
 続していく。



▲児童を対象とした環境教室

議員 研修



▲3回目の研修会

◎セクハラ防止研修会を開催

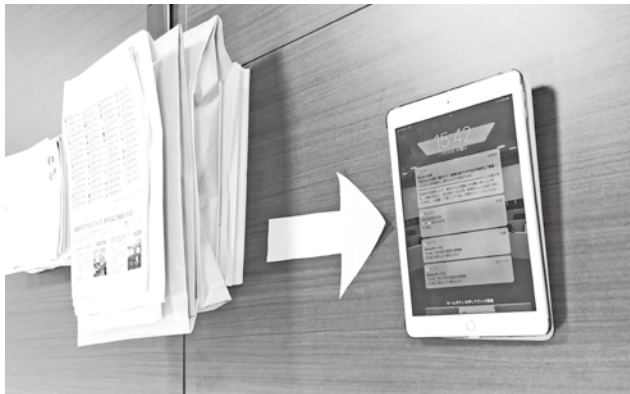
6月26日小城市議会閉会后、3名
 の女性議員の申し出により、市議会
 議員を対象に、全議員出席のもと、
 3回目のセクシャルハラスメントの
 研修会を行いました。

参加した議員は、真剣な表情でD
 VDの映像「気づこう！職場のセク
 シャルハラスメント」を見たり、講
 師の話を聞いていました。

◎ペーパーレス化の勉強会開催

いよいよ、小城市議会でもタブ
 レット端末導入に対する取り組みの
 検討が始まりました。

デジタル革命の加速化に伴い、全
 国的にも多くの自治体が、ペーパー
 レス化や議会運営の効率化、データ
 の蓄積を目的としてタブレット端末
 の導入を開始しており、小城市議会
 でも導入へ向けて6月26日に勉強会
 を開催しました。すでに全国で一
 ○以上の自治体が導入し、県内でも
 三ヶ所導入されている。



▲紙の資料からタブレットへの取り組み